暮らしの中の堺化学グループ

あんなところにも、こんなところにも、私たちの製品が息づいています。

電子材料

スマートフォンなどの電子機器には欠かせない積層セラミックコンデンサ。コンデンサがより多くの電気を蓄えたり放出したりできるよう、チタン酸バリウムや高純度炭酸バリウムが使用されています。現在は自動車の電装化やIoT・5G※の進展に伴い、コンデンサは大容量だけでなく信頼性（故障しないこと）も求められることから、微細かつ高品質な製品が役立っています。

※ IoT：Internet of Things（モノのインターネット）
5G：5th Generation（第5世代移動通信システム）

酸化チタン・亜鉛製品

創業は白粉（おしろい）の原料である酸化亜鉛。その後、白色顔料を追求していく中で酸化チタンにたどり着き、今や最も安定した顔料として、塗料やインキ、繊維など多方面に使われ、皆様の暮らしを支えています。現在、特に注力しているのが、祖業である化粧品材料。独自の粉体加工技術により作り出す超微粒子の酸化チタン・酸化亜鉛が有害な紫外線をカットし、皆様の美しく健康的なお肌づくりに貢献しています。

樹脂添加剤

塩化ビニル樹脂の成型加工を容易にし、劣化を防ぐため、塩ビ安定剤がパイプや窓枠、電線の絶縁被覆など幅広く使用されています。現在は上下水道などのインフラ整備が進む東南アジアなど新興国において、環境や健康問題に配慮した非鉛系安定剤が貢献しています。

衛生材料

新興国の経済成長や高齢化に伴い普及が進み、世界的に需要が高まりつつある紙おむつ。紙おむつや生理用品などに使用される通気性フィルムの製造を行うほか、不織布など幅広い衛生材料の販売を行っています。

環境にやさしい　人にやさしい

1 家屋
- 外壁用超耐候性酸化チタン
- 建材塗料用UV遮蔽材料
- 塩ビサッシ・雨どい用各種安定剤
- 壁紙・床材用各種安定剤

1 家庭薬等
- かぜ薬
- 胃腸薬
- 健康食品（特定保健用食品やのど飴等）

2 紙おむつ・衛生材料
- 不織布
- 通気性フィルム
- 高吸水性樹脂
- 接着剤製造用ニッケル触媒

3 入浴剤
- 入浴剤用分散体

4 食品
- 食品包装用UV遮蔽材料

5 メガネ
- 光学材料向けジルコニア分散体
- プラスチックレンズ材料

6 化粧品
- サンスクリーン用酸化チタン・酸化亜鉛
- ファンデーション用板状硫酸バリウム
- 化粧品向け蛍光体

7 病院
- X線バリウム造影剤
- 消化性潰瘍用剤
- 内視鏡用洗浄消毒器
- 医薬品原薬・中間体

8 ゴミ焼却場
- 脱硝（窒素酸化物除去）触媒
- ダイオキシン分解触媒

9 パソコン・携帯端末（スマートフォン、携帯電話など）薄型テレビなどデジタル家電
- 積層セラミックコンデンサ誘電体材料
- プラスチック難燃剤
- 半導体封止材・機能性フィルム用球状シリカ
- プリント配線板用インキ材料
- 光学材料向けジルコニア分散体
- フレキシブルプリント配線板用接着剤
- 液晶フィルム材料

10 自動車
- 塗料用酸化チタン・硫酸バリウム
- タイヤ（ゴム）用酸化亜鉛
- ブレーキパッド向け硫酸バリウム
- 積層セラミックコンデンサ誘導体材料
- 潤滑油添加剤
- フレキシブルプリント配線板用接着剤
- ヘッドランプエクステンション用着色剤（MB）

11 道路
- 路面標示材

- 視覚障がい者用点字シート

有機化学品

国内で唯一製造している有機イオウ化合物のβ－メルカプトプロピオン酸は、プラスチックメガネレンズの屈折率向上のために使用され、最近は新興国の人々の視力矯正に貢献しています。また、医薬品原薬・中間体のプロセス開発から商用生産まで、製薬企業の薬づくりの開発ステージに合わせて受託し、患者様のお手もとにいち早く確かな薬を届けるお手伝いをしています。

触　媒

脱硝触媒は、ごみ焼却炉や火力発電所から排出されるNOx（窒素酸化物）を除去することにより、地球環境の保全に貢献しています。また、プロセス触媒（ニッケル触媒）は石油樹脂の水素添加工程に使われ、光学フィルムや紙おむつ接着剤の製造工程で使用されています。このほか、重金属フリーのポリエステル重合用触媒やエネルギー問題を解決する新規触媒の開発を進めています。

医　療

消化器系の分野を得意としており、国内で高いシェアを誇るX線造影剤、潰瘍治療薬などを長年にわたり提供しているほか、内視鏡用洗浄消毒器の販売も手掛け、医療現場を支えています。また、セルフメディケーション時代に対応し、かぜ薬「改源」をはじめとする一般用医薬品や健康食品を展開するとともに、近年では人工骨充填材（製造協業）、サプリメントやUVクリーム（美容医療）、血液や唾液によるがん検査（臨床検査）といった新領域へ進出しています。

研究開発

持続可能な開発目標（SDGs）における、7「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」、9「産業と技術革新の基盤をつくろう」、13「気候変動に具体的な対策を」に着目し、水素社会到来に向けた燃料電池材料、畜エネルギーとしての二次電池用材料などの開発を進めています。また長期的なテーマとして、エネルギー問題、温暖化問題の解決への寄与が期待されるカーボンリサイクル技術について、産学官連携により将来の実用化に向けて取り組んでいます。